



2025 環境活動レポート

エコアクション21

2025年4月1日～2026年3月31日



発行日：2026年7月10日

目 次

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 認証・登録の対象組織・活動
4. 環境目標
5. 主な環境活動計画
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果の評価
8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境経営方針

<基本理念>

当社は、“あい・は・ゆめ”をキャッチフレーズに、愛と調和を企業理念として、建設の頼もしさや優しさをベースに、人、暮らし、地球とよりよい関係を築いていきたいという願いを込めています。地球温暖化をはじめとするさまざまな環境問題に対して、事業活動に伴う環境への負荷を削減するとともに、環境に優しい建物を提供することで、地球環境の保全に貢献してまいります。

<行動指針>

- 1 事業活動に伴って排出される二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
- 2 事業活動に伴って排出される廃棄物の削減やリサイクルに取り組めます。
- 3 事業活動に伴って排出される排水量や、水使用量を削減に取り組めます。
- 4 事業活動に伴って使用される資材の化学物質の適正管理に取り組めます。
- 5 建設現場・工場での省資源・省エネルギー化を推進します。
- 6 当社に求められる環境関連法規等を遵守します。
- 7 定期的に環境経営システムを見直し、継続的に改善していきます。
- 8 業務のICT化による合理化の推進を行います。
- 9 省エネを重視した商品開発を行います。
- 10 お客様に建物の省エネルギー化の提案・推進をします。

制定日：2019年10月1日

改訂日：2021年11月1日

愛和建设株式会社
代表取締役社長 横山隆太

2. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

愛和建设株式会社
代表取締役社長 横山隆太

(2) 所在地

本 社 山形県山形市北町三丁目9番15号
TEL:023-664-0068 FAX:023-664-0018

AIWA FRAME製造部 山形県東村山郡中山町長崎1208-1
TEL:023-662-5555 FAX:023-662-2200

仙 台 支 店 宮城県仙台市太白区富沢南1-18-2
TEL:022-399-8615 FAX:022-399-8617

(3) 環境管理責任者氏名

責 任 者 営業部係長 朝倉 智子

(4) 事業内容

建設に関わる工事の一式（設計・施工・メンテナンス全般）
プレハブ組立ハウスの製造・販売
建築資材の開発・製造・販売

(5) 事業の規模

設 立 1944年4月17日
資本金 8,000万円
売上高 42億円（2025年度）
従業員 70人（2026年3月末現在）

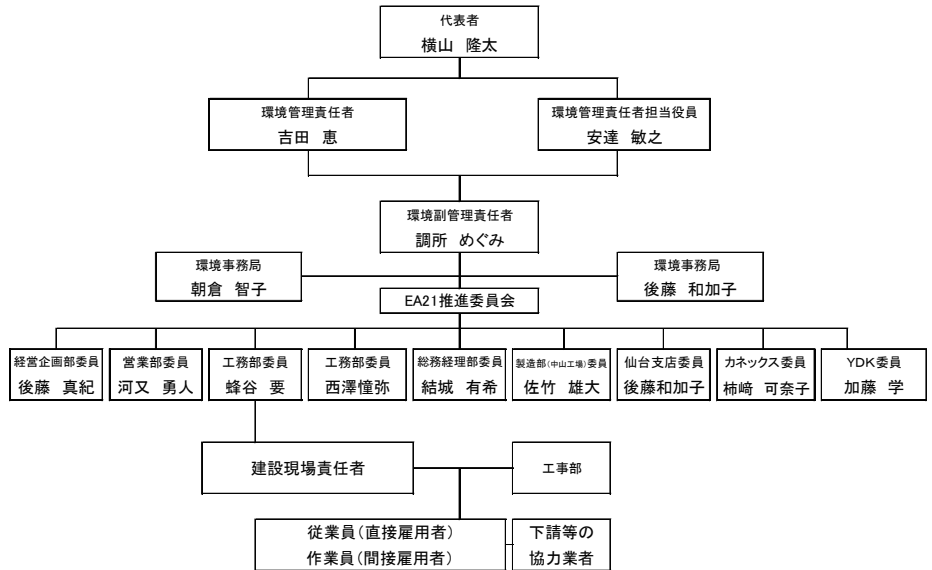
(6) 事業年度

4月～翌年3月

エコアクション21実施体制

■制定日:2019年10月1日

■改訂日:2025年4月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・効果的で必要十分な実施体制を構築する ・環境方針の策定・見直し ・環境目標、環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標、環境活動計画書を確認・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 ・環境経営目標・環境経営計画の原案を作成 ・環境目標、環境活動計画の実績の集計 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づき遵守評価の実施 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・3ヶ月毎の活動計画書の周知とチェック ・環境活動報告の取りまとめ
部門長・推進委員・建設現場責任者・協力業者	・自部門、建設現場における環境経営システムの実施 ・自部門、建設現場における環境経営方針の周知 ・自部門、建設現場の従業員、作業員に対する教育訓練の実施 ・自部門、建設現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門、建設現場における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管 ・自部門、建設現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員・作業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営へ参加

3. 認証・登録の対象組織、活動

(1) 認証・登録範囲

全組織、全活動

(2) 環境活動レポートの対象取組期間

2025年4月1日～2026年3月31日

4. 環境目標

(1) 環境目標項目の選定

環境負荷と取組についての自己チェック、環境方針との整合性を図り、次の項目について環境目標を設定します。

- ・ 二酸化炭素排出量
- ・ 廃棄物排出量
- ・ 水使用量
- ・ 化学物質使用量
- ・ 自らが施工・販売する建築物等の環境性能の向上

(2) 環境目標（短期・中長期）の設定

各項目の削減目標については、下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2025年4/1～3/31	2023・2024・2025年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	2022年度比1.4%削減	2022年度比1.4%削減
一般廃棄物排出量 (kg)	2022年度比1.4%削減	2022年度比1.4%削減
水使用量 (m3)	2022年度比1.4%削減	2022年度比1.4%削減
化学物質使用量 (kg)	2022年度比1.4%削減	2022年度比1.4%削減
リノベーション工事の推進	3件	3件
建設現場の再資源化率達成	80%	80%
社会貢献活動の推進と情報発信	5件	5件
省エネ性能建築物 提案の促進	20件	20件
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	10件	10件

2022年度実績値（本社・中山）を基に2025年度の具体的目標値を下記のように算出しました。（1.4%削減）

	2022年度実績	取組期間目標値
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	172,888	170,468
電気使用量 (kWh)	113,545	111,955
灯油使用量 (L)	4,962	4,893
L P G使用量 (m3)	22.4	22.09
ガソリン使用量 (L)	37,781	37,252
軽油使用量 (L)	8,110	7,996
一般廃棄物排出量 (kg)	2,069	2,040
産業廃棄物排出量 (kg)	13,433	13,245
総排水量（水使用量） (m3)	528	521
化学物質使用量 (kg)	400	394
リノベーション工事の推進	—	3件
建設現場の再資源化率達成	—	80%
社会貢献活動の推進と情報発信	—	5件
省エネ性能建築物 提案の促進	—	20件
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	—	10件
二酸化炭素排出量（総量） (kg-CO2)	230,747	203,420

なお、2025年度の各項目は、中長期目標設定時点で事業所規模が小さく実績のない仙台支店と、年度毎に規模の異なる工事現場は含まず、本社・中山工場の総量を比較目標としております。
 ※二酸化炭素排出量のみ仙台支店と工事現場を含めた総量も記載させていただきます。
 ※電気の二酸化炭素排出係数は、2025年度の東北電力の実排出係数0.477kg-CO2/kWhを使用しています

5. 主な環境活動計画

環境経営計画 (どのように)	
1 二酸化炭素排出量の削減	
(1) 電気使用量の削減	
	■事務所内の消灯、OA機器・家電製品の待機電力の削減 ■中山工場内のこまめな消灯 ■定期的にエアコンのフィルターを清掃する。 ■エアコン稼働時の空気循環を促し消費電力の削減 ■本社1F打合せ室・応接室の照明を決まった時間で消灯（打合せ等で使用予定の場合を除く）
(2) ガソリン・軽油・灯油の削減	
	■燃費の管理と削減の促進 ■エコ運転・定期的な車輛整備をする ■エコ運転・安全運転の動画配信 ■建設現場・中山でのジェットヒーター等の適正管理
2 廃棄物排出量の削減	
(1) 一般廃棄物の削減	
	■ミスパrintの活用 ■ヘルメットの適正管理と作業着のリサイクル推進 ■排出量を前年と比較してグラフ化
(2) 産業廃棄物の削減	
	■分別を徹底し、現場の混廃をゼロに近づける ■電子マニフェストの活用（導入・運用） ■建設現場の再資源化率達成 ■産業廃棄物処理場見学の為の勉強会・セミナー受講
3 総排水量の削減（水使用量の削減）	
	■手洗い時の節水
4 化学物質使用量の削減	
	■化学物質使用量の把握・噴霧量の的確な調整

5 省エネ建築物推奨・SDGsとの連携	
	■環境活動の取組とSDGsについて検証を行う ■省エネ法の講習会へ参加する ■リノベーション工事の推進 ■設計・積算で省エネの提案を行う ■グリーン購入 ■ソーラーパネル・蓄電池の設置の検討
6 製作の効率化・予定の管理	
	■他部門と連携した予定管理と、情報の共有・周知
7 協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた環境への取り組みを行う	
	■品質施工計画書によるエコアクション2.1項目のチェック ■現場毎に現場状況に応じた環境への重点取り組み目標の設定。 上記チェック項目と合わせた事務所への掲示 ■美化チェック訪問でのエコアクション2.1項目の実施状況のチェック
8 教育・訓練の実施	
	■新入社員への環境教育の実施 ■建設現場での協力業者への環境教育の実施 ■ESG(環境・社会・企業統治に配慮する考え方)の教育研修活動の実施 ■健康リスクと合わせた環境リスクに関するセミナーやワークショップの開催 ■建設現場での緊急事態に備えた備品配布の検討
9 環境コミュニケーションの実施	
	■近隣挨拶で回ったリストを作成。要望事項等を記録に残し、現場重点取り組み目標に反映させる ■社会貢献活動に合わせた運動の促進 ■社会貢献活動の推進と情報発信 ■社屋周辺の清掃
10 環境上の緊急事態への準備及び対応	
	■建設現場の状況に応じた訓練の実施
11 カネックス	
	■省エネ性能建築物提案の促進
10 Y.D.K	
	■国産・県産材の使用の推進 ■ファニチャーリノリウム使用の推進

6. 環境目標と実績

■ 対象取組期間における環境目標の達成状況は下記の通りでした。

	2025年度目標	2025年度実績	削減量	達成度	未達成の原因
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	170,468	180,793	10,325	×	人員増加
電気使用量 (kWh)	 111,955	105,550	▲ 6,405	○	
灯油使用量 (L)	 4,893	3,761	▲ 1,132	○	
L P G使用量 (m3)	 22.09	31.50	9	△	
ガソリン使用量 (L)	 37,252	45,959	8,707	×	人員増加、 遠方現場増加
軽油使用量 (L)	 7,996	5,567	▲ 2,429	○	
一般廃棄物排出量 (kg)	 2,040	1,472	▲ 568	○	
産業廃棄物排出量 (kg)	 13,245	35,712	22,467	×	営業対応用コンテナ 新規設置、社長室改修
総排水量（水使用量） (m3)	 521	712	191	×	人員増加
化学物質使用量 (kg)	 394	389	▲ 5	◎	
リノベーション工事の推進	 3件	6件		◎	
建設現場の再資源化率達成	 80%	95%		◎	
社会貢献活動の推進と情報発信	 5件	5件		○	
省エネ性能建築物 提案の促進	 20件	断熱改修提案15件 省エネ改修提案13件		◎	
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	 10件	4件		×	案件としては少ない が、物量としては昨年 度より大幅増
二酸化炭素排出量（総量）※ (kg-CO2)	203,420	211,309	7,889	×	人員増加

なお、2025年度の各項目は、中長期目標設定時点で事業所規模が小さく実績のない仙台支店と、年度毎に規模の異なる工事現場は含まず、本社・中山工場の総量を比較目標としております。

比較目標に対して ◎：非常に良い ○：良い △：前年度並み～やや悪い ×：悪い

※二酸化炭素排出量のみ仙台支店と工事現場を含めた総量も記載させていただきます。

7. 環境活動計画の取り組み結果の評価-実践記録

< 2025年度環境経営計画の実施状況の確認・評価 >				
■ 制定日：2025.4.1				
■ 取組期間：2025.4～2026.3		■ 実績評価：○良好 △不十分 ×未実施		
環境経営計画 (どのように)		実施時期 (いつ)	該当場所 (どこで)	総合 評価／対策等
1 二酸化炭素排出量の削減				
(1) 電気使用量の削減				
	■事務所内の消灯、OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年	事務所・中山工場・仙台台	○
	■中山工場内のこまめな消灯	通年	中山工場	○
	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する。	6・8・11月	事務所・中山工場・仙台台	○
	■エアコン稼働時の空気循環を促し消費電力の削減	通年	事務所・中山工場・仙台台	○
	■本社1F打合せ室・応接室の照明を決まった時間で消灯 (打合せ等で使用予定の場合を除く)	通年	本社	○
(2) ガソリン・軽油・灯油の削減				
	■燃費の管理と削減の促進	通年	事務所・中山工場・仙台台・現場	○
	■エコ運転・定期的な車輛整備をする	通年	事務所・中山工場・仙台台・現場	○
	■エコ運転・安全運転の動画配信	年2回	事務所・中山工場・仙台台・現場	○ 各部門ごとに実施
	■建設現場・中山でのジェットヒーター等の適正管理	冬季間	建設現場・中山工場	○
2 廃棄物排出量の削減				
(1) 一般廃棄物の削減				
	■ミスピントの活用	通年	事務所・中山工場・仙台台	○
	■ヘルメットの適正管理と作業着のリサイクル推進	随時	事務所	○
	■排出量を前年と比較してグラフ化	通年	事務所・中山工場・仙台台	○
(2) 産業廃棄物の削減				
	■分別を徹底し、現場の混廃をゼロに近づける	通年	事務所・中山工場・現場	○
	■電子マニフェストの活用（導入・運用）	通年	建設現場	○
	■建設現場の再資源化率達成	通年	建設現場	○
	■産業廃棄物処理場見学の為の勉強会・セミナー受講	随時	事務所・建設現場	○
3 総排水量の削減（水使用量の削減）				
	■手洗い時の節水	通年	事務所	○
4 化学物質使用量の削減				
	■化学物質使用量の把握・噴霧量の的確な調整	通年	中山工場	○

5 省エネ建築物推奨・SDGsとの連携					
	■環境活動の取組とSDGsについて検証を行う	随時	事務所	○	
	■省エネ法の講習会へ参加する	随時	事務所	○	
	■リノベーション工事の推進	通年	事務所・建設現場	○	
	■設計・積算で省エネの提案を行う	通年	事務所	○	
	■グリーン購入	通年	事務所	○	
	■ソーラーパネル・蓄電池の設置の検討	通年	事務所	○	
6 製作の効率化・予定の管理					
	■他部門と連携した予定管理と、情報の共有・周知	通年	中山工場	○	
7 協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた環境への取り組みを行う					
	■品質施工計画書によるエコアクション21項目のチェック	通年	建設現場	○	
	■現場毎に現場状況に応じた環境への重点取り組み目標の設定。 上記チェック項目と合わせた事務所への掲示	通年	建設現場	○	
	■美化チェック訪問でのエコアクション21項目の実施状況のチェック	通年	建設現場	○	
8 教育・訓練の実施					
	■新入社員への環境教育の実施	随時	事務所	○	
	■建設現場での協力業者への環境教育の実施	通年	建設現場	○	
	■ESG(環境・社会・企業統治に配慮する考え方)の教育研修活動の実施	年1回	建設現場	○	
	■健康リスクと合わせた環境リスクに関するセミナーやワークショップの開催	年1回	建設現場	○	
	■建設現場での緊急事態に備えた備品配布の検討	通年	建設現場	○	
9 環境コミュニケーションの実施					
	■近隣挨拶で回ったリストを作成。要望事項等を記録に残し、現場重点取り組み目標に反映させる	随時	建設現場	○	
	■社会貢献活動に合わせた運動の促進	通年	事務所	○	
	■社会貢献活動の推進と情報発信	通年	事務所	○	
	■社屋周辺の清掃	通年	事務所	○	
10 環境上の緊急事態への準備及び対応					
	■建設現場の状況に応じた訓練の実施	年1回以上	建設現場	×	現場との調整図れず未実施
11 カネックス					
	■省エネ性能建築物提案の促進	通年	カネックス	○	
10 Y.D.K					
	■国産・県産材の使用の推進	通年	YDK	○	
	■ファニチャーリノリウム使用の推進	通年	YDK	○	

7. 環境活動計画の取り組み結果の評価-実践記録

節水対策

水道代節約、環境負荷の低減のため、本社トイレに音姫の設置。



2025グランマルシェで3Dモデリング体験

リノトリノベーションの周知と3Dモデリング操作体験を通し興味を持ってもらうため、建材の端材や廃材を利用し店内装飾やアクセサリを製作。



SUKSK講座受講

山形市職員による出前講座を受講。食生活と減塩（大人の食育～食方・塩分）で健康寿命をのばすヒントを得る。



ヘルメットリサイクル

ミドリ安全リサイクルシステム「ワイダクス」利用開始。これまで廃棄処分していた使用済みヘルメットについて、環境負荷の低減を目的としてリサイクル化を進めるために実施。



お問い合わせ

株式会社
環境管理
環境管理

ミドリ安全のシステム「ワイダクス」のご利用について

詳細：詳しくはミドリ安全のウェブサイトをご覧ください。
当社は環境負荷低減を目的として、環境負荷を削減し、環境にやさしい製品を提供します。
ワイダクスのご利用にあたり、下記を御注意ください。

※

- ・適用：ミドリ安全のウェブサイト「ワイダクス」の適用範囲にて、回収依頼
- ・形式：ワイダクス適用範囲は、サービスデータでご確認ください。Eコマース（PDF・FAX 不可）
- ・窓口：ミドリ安全 企画管理部 環境管理課：eco-center@midori-jan.com
各機ご対応は、従来通りミドリ安全営業担当まで
- ・フロー：詳細はこちら

以上

ボランティア清掃活動（ふるさとの川愛護活動）

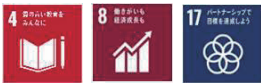
マイロード活動に加え、ふるさとの川愛護活動にも参画。
馬見ヶ崎川の草刈り、ごみ拾い等の清掃美化活動を行った。



2025.6.4建設新聞掲載

ESG経営セミナー受講

ESG経営について理解を深めるためセミナーに参加。



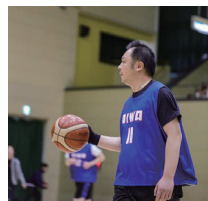
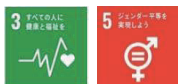
本社消防訓練

消火器の使用手順の確認及び訓練を実施した。
防災意識を高め、安全作業に努めていきたい。



「第27回 肉そばカップバスケットボール大会」に出場

バスケットボール経験者を中心にチームを組み、健康増進のため「肉そばカップバスケットボール大会」に参加した。



産業廃棄物処理研修会

産業廃棄物の区分・処理の種類について理解を深めるため、研修会を実施した。



ボランティア清掃活動（ふれあいの道路）

7・9・11月に、県道美化維持の為、ゴミ拾いや草刈り等の清掃活動を実施。



8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

<2026年度環境経営目標>

■制定日：2019.10.1 ■対象：愛和建设株式会社
 ■改定日：2026.4.1 ■取組期間：2026年4月～2028年3月

本法人は、2019年10月から、エコアクション21の取り組みを開始しました。環境経営目標は、2025年度を基準として、2026年度から2028年度までの

中長期目標を策定し、下記目標を取組みます。

■環境経営目標の設定

環境経営目標項目	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績	基準年度実績	中長期目標(3年)		
	2025年度実績 2025.4～6	2025年度実績 2025.7～9	2025年度実績 2025.10～12	2025年度実績 2026.1～3	2026年度目標 (2026.4～2027.3)	2027年度目標 (2027.4～2028.3)	2028年度目標 (2028.4～2029.3)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	58,070	40,628	38,633	43,538	2025年度比 1%削減	2025年度比 2%削減	2025年度比 3%削減
一般廃棄物排出量 (kg)	402	558	460	201	2025年度比 1%削減	2025年度比 2%削減	2025年度比 3%削減
水使用量(m ³)	228	110	274	133	2025年度比 1%削減	2025年度比 2%削減	2025年度比 3%削減
化学物質使用量 (kg)	34.7	121.0	161.0	73.0	2025年度比 1%削減	2025年度比 2%削減	2025年度比 3%削減
リノベーション工事の推進	—	—	—	—	3件	3件	3件
建設現場の再資源化率達成	—	—	—	—	80%	80%	80%
社会貢献活動の推進と 情報発信	—	—	—	—	5件	5件	5件
省エネ性能建築物 提案の促進	—	—	—	—	20件	20件	20件
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	—	—	—	—	10件	10件	10件

※ 電気の二酸化炭素排出係数は、2024年度の東北電力の実排出係数0.385g-CO₂/kWhを使用しています。

<2026年度環境経営計画>

環境経営計画は引き続き現在のものを継続します。

9. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける環境関連法規は次の通りです。

確認および評価の結果、環境関連法規は遵守されており、違反・訴訟等はありませんでした。

実施日：2025年7月31日

適用される法規	適用内容または規制基準
■環境基本法	自然環境保全のための措置を講じ、廃棄物の処理を適正に行う。事業活動を行う際は、環境への負荷の低減、再生資源を利用するように努める。国又は地方公共団体の施策に協力する。
■循環型社会形成推進基本法	事業活動は、循環資源の利用を行う。循環型社会の形成に努める。国又は地方公共団体の施策に協力する。
■地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出抑制に努める。国及び地方公共団体の施策に協力する。
■グリーン調達法	物品購入の際は、環境物品等を選択するよう努める。
■環境配慮促進法	情報提供に努め、他の事業者に対し、環境情報を勘案してこれを行うように努める。
■下水道法	事故発生の場合は応急措置を講じ、措置の概要を速やかに公共下水道管理者に届出る。
■山形市火災予防条例	一定量以上の危険物の貯蔵は届出を行う。事故発生時は、直ちに届出・通報を行う。貯蔵所の標識と掲示板を設置する。
■オフロード法	フォークリフトなど特殊自動車を使用する際は、基準適合表示がされた物を使用し、排出ガスの抑制措置を講ずる。
■大気汚染防止法 ■石綿障害予防規則	一定規模以上の建築物について、事前調査・記録の作成保存を行い、結果を県に報告する。石綿等の除去作業を行う際は隔離を行い、作業記録を作成・保存する。
■廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物は適正に保管・処理する。（囲い・掲示板の設置）土地、建物を清潔に保ち、不正処理を発見した場合は通報する。水銀使用製品は他の物と混合を 방지、掲示板へ明記する。
●一般廃棄物・産業廃棄物の処理	分別、保管等を行い、市町村に協力する。運搬、処分は許可された業者に委託する。委託契約は、収集運搬業者及び処分業者と別々に行うこと。最終処分が適切に処理されているかを確認する。
●産業廃棄物管理票	運搬・処分を委託する場合には管理票を交付し、交付状況を県知事へ報告する。
■フロン排出抑制法	簡易定期点検を実施し、記録を保管する。廃棄の際は特定の回収業者に依頼し、書面を交付する。
■自動車リサイクル法	廃棄の際は登録業者に依頼し、引取証明書の発行を受ける。リサイクル費用を支払う。
■家電リサイクル法	可能なかぎり長期間使用する。廃棄する際はリサイクル料を支払い、特定の業者へ引き渡す。マニュアルの写しの交付を受ける。
■建築リサイクル法	廃棄物の再資源化を行い、再利用に努める。再資源化の費用を明記した分別解体計画等を作成し、説明する。工事着手前に行政へ届出を行う。分別解体・リサイクルについての掲示を行う。
■建築物省エネ法	省エネ基準を満たし、また所管行政庁からの判定を受ける。建築確認手続きに連動させ、実効性を確保する。一定規模以上の場合には所管行政庁へ届出る。住宅事業建築主に対して、省エネ性能の向上を誘導する。
■工場立地法	工場を新設する際、立地している行政へ届出を行う。

10.代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価

2022年度を基準とした中長期環境目標の最終年である2025年度の実績を評価すると、日常的な省エネ活動が定着した一方で、事業拡大に伴う環境負荷の増加に課題を残す結果となりました。こまめな消灯やペーパーレス化の推進により、主要目標である電気・軽油使用量、一般廃棄物の削減は着実に達成されました。また、リノベーション工事や省エネ提案、再資源化率の向上など、本業を通じた環境貢献活動でも目標を大きく上回る成果を上げています。

一方で、人員増や遠方現場の拡大、社内改修工事といった事業活動の活発化による影響を吸収できず、ガソリンや水の使用量、産業廃棄物排出量が目標を大幅に超過してしまいました。

総じて、従業員の環境意識向上と基礎的な活動は定着したと高く評価できませんが、事業の成長や変動を考慮した、より現場の実態に即した実効性のある環境管理体制への移行が今後のポイントとして考えられます。

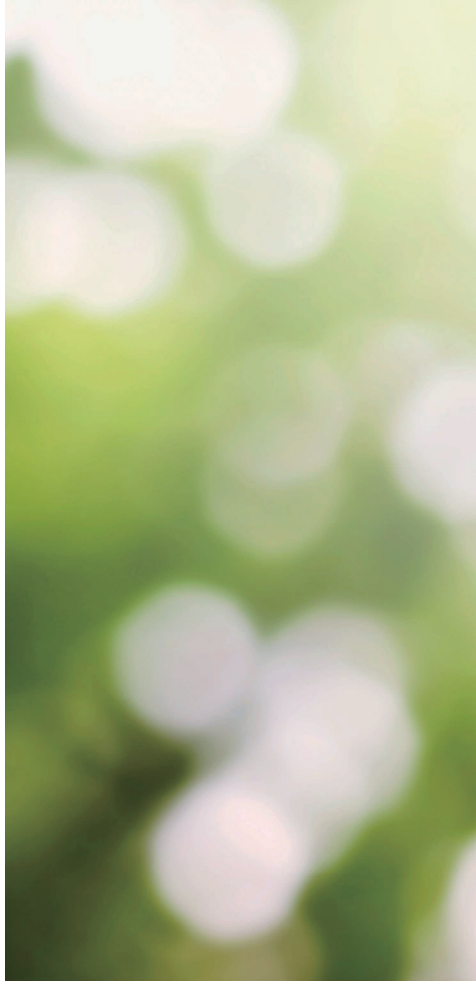
次年度に向けて

これまでの課題を踏まえ、計画を見直し、現場の実態に即した「現実的かつ堅実なアプローチ」へと軌道修正を図ります。

具体的には、課題であったガソリン削減について、車両ごとの燃費管理やエコ運転の励行など、より直接的な管理を徹底します。大幅に超過した産業廃棄物についても、まずは廃棄手順の理解と分別の徹底を優先し、各現場での電子マニフェスト運用を開始して管理を強化します。さらに、化学物質の管理は、現状の成分と量を把握した上で最低量での運用に努めます。

引き続き、全社一丸となって現場の基礎を固め、事業成長と環境負荷低減の両立を目指してまいります。

愛和建设株式会社
代表取締役社長 横山隆太



愛和建設株式会社

本 社	〒990-0821	山形市北町3-9-15	TEL:023-664-0068 FAX:023-664-0018
仙 台 支 店	〒982-0036	仙台市太白区富沢南1-18-2	TEL:022-399-8615 FAX:022-399-8617
製 造 部	〒990-0401	東村山郡中山町長崎1208-1	TEL:023-662-5555 FAX:023-662-2200

関連会社

(株)カネックス	〒990-0821	山形市北町3-9-15	TEL:023-664-0073 FAX:023-664-0076
(株)Y.D.K	〒990-0401	東村山郡中山町長崎1208-1	TEL:023-687-1950 FAX:023-687-1940